

平成18年度

2006

本市の基幹産業であるお茶の生産について、生産者や製茶工場、農協などの関係者が、安全安心な取り組みを宣言しました。  
5月には「市民力」を生かした協働のまちづくりを進めようと「フォーラムまきのはら」が立ち上がりました。  
また、警察署の管轄区域が変更され、榛原警察署から牧之原警察署に名称を改め業務が開始されました。  
市内の交流と連携を図り、市をより一層飛躍させることを目的に、新春顔合わせ会を初めて開催しました。

平成18年 2006年

- 4月1日 牧之原警察署発足、牧之原市花の会設立
- 4月5日 夜間延長窓口開始
- 4月20日 お茶の安全安心取り組み宣言
- 5月 フォーラムまきのはらの立ち上げ
- 5月25日 第1号「静岡まきのはら大使」にたけいしほ井保氏（細江区出身）就任
- 5月30日 皇室へ静岡牧之原茶の献上
- 6月1日 住宅用火災警報器の設置が義務付け
- 9月28日 第1次牧之原市総合計画基本構想が市議会で可決
- 10月11日 合併1周年記念式典開催
- 平成19年 2007年
- 1月4日 新春初顔合わせ会を初めて開催



献上茶を宮内庁や東宮御所へ送達



牧之原警察署が発足



新春初顔合わせ会を初めて開催



合併1周年記念式典開催



お茶の安全安心取り組み宣言

平成19年度

2007

文化振興を目的に、14年度から工事を進めてきた相良総合センターい〜らが完成。落成記念公演の朗読劇「光さす故郷へ」が上演されました。  
5月、市の花は「アジサイ」、市の木は「茶」に決まりました。  
全国茶品評会の深蒸し煎茶の部で、マルサダ製茶株式会社が最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。  
東京都内で初の市東京交流会が開催されました。交流会には、静岡まきのはら大使の宮村眞平さん、不破央さんをはじめ、市出身者や市内高等学校卒業生など、129人が参加し、交流を深めました。

平成19年 2007年

- 4月1日 牧之原市観光協会が開所
- 第1次牧之原市総合計画が開始
- 4月17日 市の花「アジサイ」、市の木「茶」が決定
- 5月27日 相良総合センター「い〜ら」完成（落成記念公演朗読劇「光さす故郷へ」上演）
- 7月27日 東海4県で初となる「エコアクション21」の認証を取得
- 8月31日 第61回全国茶品評会でマルサダ製茶株式会社が農林水産大臣賞受賞
- 9月26日 牧之原総合開発株式会社が解散
- 10月15日 中里工業団地開発に関する協定書締結
- 11月26日 国道473号バイパス（菅山〜須々木）開通
- 11月29日 牧之原市東京交流会を初めて開催
- 11月30日 相良油田石油坑および相良油田資料館の所蔵物が「地域活性化に役立つ近代化産業遺産」に認定
- 平成20年 2008年
- 1月 市民と市が協働で市長マニフェストを検証



市の花「アジサイ」



市の木「茶」



相良総合センターい〜らが完成



エコアクション21の認証を取得



市民が市長マニフェストを検証



牧之原市東京交流会を初めて開催